

文献

Donoyama Nozomi. Effects of Anma Therapy (Japanese Massage) on Subjective Physical Symptoms in Gynecologic Cancer Survivors: Data from a Randomized Controlled Trial. *日本温泉気候物理医学会雑誌*. 2017; 80(1): 21. 医中誌 web ID 2017308086

1. 目的

婦人科がんサバイバーの主観的な身体症状の分布とあん摩の効果を検討する。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験

3. セッティング

記載なし

4. 参加者

子宮頸部がん、子宮内膜がん、卵巣がんの病歴のある 40 人（標準的な治療後 3 年以上再発の無いもの）

5. 介入

Arm 1: ATM 群（8 週間週 1 回 40 分間のあん摩施術）

Arm 2: 非 ATM 群

6. 主なアウトカム評価項目

主観的な身体症状と VAS の変化

7. 主な結果

20 人の参加者は頸肩こりを有していた。12 人は下肢症状（痛み、重さ、こわばり、不快感）を有していた。腰痛は 2 人、頭痛、背部のこわばり、片側の不快感、全身搔痒、指の異常感覚、泌尿器障害が各 1 人であった。頸肩こりと下肢症状の VAS が AMT 群で大幅に改善されたが、サンプルサイズが小さく統計解析が不可能であった。VAS は各あん摩施術後に改善し、腰痛、背部のこわばり、片側の不快感、泌尿器障害で継続的な改善を示した。

8. 結論

あん摩施術は婦人科がんサバイバーの主観的な身体症状である頸肩こり、下肢症状を改善する可能性がある。

9. 論文中の安全性評価

記載なし

10. Abstractor のコメント

がんサバイバーの有する身体症状とあん摩の効果について RCT で検討された貴重な研究である。今回の報告は抄録集であるため施術内容の詳細が不明であることやサンプルサイズの問題から統計解析まで至っていないことなどの課題がある。今回の課題に加え、がんサバイバーと健康成人の主観的な身体症状との比較など今後の研究に期待したい。

11. Abstractor and date

成島朋美 2021. 11. 25